

1

## 気象変動に対する 「ウットンバイオスター」の影響(大根)



湯地 秀樹(48歳)  
宮崎県宮崎市大字本郷南方2652  
【作付品目】  
大根・水稻・スイートコーン・らっきょう等  
作付面積:約540a (市場・農協出荷)  
取引開始:平成26年10月～



循環型農業実践農家  
湯地 秀樹

2

## 作付詳細 (H30年度)

大根 ※9月～2月

(千切り用)140a 品種:耐病総太り

(青果用) 40a 品種:YRおでん 計180a

その他

・水稻

(早期水稻) 320a 品種:コシヒカリ

(飼料用イネ) 90a

・スイートコーン 80a ・らっきょう 50a

3

## 台風22号(平成29年10月29日宮崎上陸)



4

## 集中豪雨があったエリア



5



6



7

①台風通過後の朝7:30、藤原さんに電話  
「播種後1ヶ月前後の大根が13時間ほど水没したので、確実に根をやられている。もうだめかもしれない」

②まだ水は引いていなかったが、宮崎みどり製薬㈱からの支援物資として藤原さんがウットンバイオスターをすぐに持ってきてくれる。その後、藤原さんが田野町の日高 猛さんに電話して聞いてきた的確なアドバイスで、とにかくその日の午後にウットンバイオスターと微量要素を動噴散布する。

③田野町の日高 猛さんについては、その後もいろいろとアドバイスをもらったり、実際に圃場に来て頂いたりとお大変お世話になった。

8





9

平成30年2月3日(青首大根※千切り)



10

平成30年2月3日(青首大根※千切り)



11

平成30年2月3日(青首大根※千切り)



12

## H30年9月30日 台風24号直撃！！

県内のニュース

いいね! 0 | シェア 0 | ツイート | LINEでは 0 | G+

1日(月)6 台風24、25号、農水産被害43億円 過去5年最大

2018年10月11日

9月末から本県に相次いで接近した台風24、25号による農水産被害額について県は10日、過去5年間の台風被害で最大となる43億5014万円(速報値)に上ると発表した。農産物の被害額は全体の75・7%を占める32億9548万円。このうちダイコンやキュウリなどの「野菜」が13億7601万円、「飼料作物」が3億5028万円となった。ビニールハウスの全半壊や破損など農業用施設の被害額は12億3291万円だった。県農政企画課は「まだ調査中で、さらに被害額や面積が拡大するだろう」としている。

宮崎駅前



13

台風直撃4時間後の大根圃場(播種13日目)



14



15



16





17



18



19

昨年の経験を踏まえて、台風が来る3日前に  
ウットンバイオスターを散布していた。



20

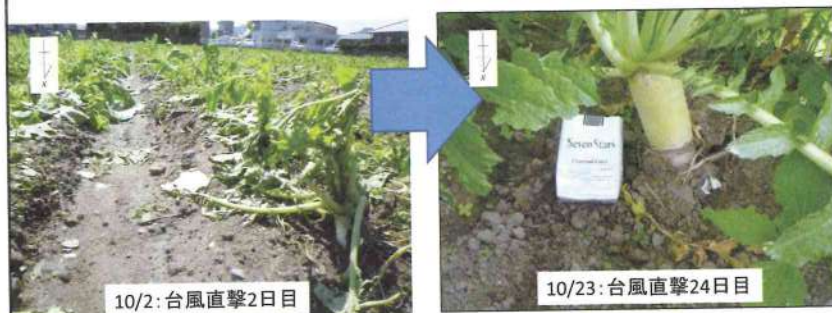
台風24号の被害にあった圃場、その後①





21

## 台風24号の被害にあった圃場、その後②



22

## 同日(9/17)に播種した大根の比較(播種30日目)



WBS散布区

対照区(WBS無散布)

23

## 同日(9/17)に播種した大根の比較(播種45日目)



WBS散布区

対照区(WBS無散布)

24

## 圃場全体図



WBS散布区

対照区(WBS無散布)

25

## 私の「ウットンバイオスター」使用方法



WBS＝ウットンバイオスター

## H28年までの使用方法

(使用目的)  
大根の成長促進①間引き1週間後、  
100倍希釈液を100L/10aほど動噴散布  
10a:WBS1g+水100g+浸透性展着剤②その2週間後、  
①と同じ方法※10a当たりのWBS合計使用量  
約2.0L/10a

## H29年の使用方法

(使用目的)  
雨・風、日照時間、気温・温度等の  
気象変動に左右されない栽培①間引き1週間後、  
100倍希釈液を100L/10aほど動噴散布  
10a:WBS1g+水100g+浸透性展着剤②その2週間後、  
①と同じ方法③台風通過後、  
①と同じ方法+微量要素※10a当たりのWBS合計使用量  
約3.0L/10a

## H30年の使用方法

(使用目的)  
雨・風、日照時間、気温・温度等の  
気象変動に左右されない栽培①本葉が2枚になった時期  
100倍希釈液を100L/10aほど動噴散布  
10a:WBS1g+水100g+浸透性展着剤②間引き後、  
①と同じ方法③台風通過後、  
①と同じ方法+微量要素④台風が来ると予想される2.3日前、  
③と同じ方法※10a当たりのWBS合計使用量  
約4.0L/10a

26

## 過去4年における大根の売上金額(税別)

※以下金額は当時の出荷先相場に依る

平成26年1月～12月  
作付面積:約60a  
1,856,470円  
(約31万円/10a)平成27年1月～12月  
作付面積:約90a  
4,292,870円  
(約48万円/10a)平成28年1月～12月  
作付面積:約140a  
8,096,254円  
(約58万円/10a)平成29年1月～12月  
作付面積:約140a  
7,428,558円  
(約53万円/10a)

27

## 今後の取り組み

- ①気象変動に左右されない農業の確立  
→経営安定
- ②出荷している野菜の秀品率向上  
→利益率UP

ご清聴ありがとうございました